

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 今週の注目材料 = 今後の政策変更へのヒントは？ ～米FOMC

2021年4月26日

4月27日、28日に米連邦公開市場委員会(FOMC)が開催されます。結果発表は日本時間29日の午前3時。政策金利及び量的緩和は現状維持が見込まれています。

前回3月のFOMCでは、直近の景気回復を認めつつも、FRBが見据える目標達成には程遠く、先行きは極めて不確実として、当面の間支援が必要という従来の姿勢を維持しました。市場の一部が期待していたテーパリングへの言及は見られませんでした。

FOMCで示された参加メンバーによる経済見通し(SEP)では、今年の経済成長率見通しを12月時点の+4.2%から+6.5%に大幅に引き上げ、物価見通しについても12月時の総合・コア共に前年比+1.8%から、総合+2.4%、コア+2.2%へ、ともにターゲットの2.0%を一時的に超える見通しを示しています。

SEP内で示される各メンバーによる年末時点での政策金利見通し(ドットプロット)において、23年末までに利上げすると見込んだメンバーは18名中7名にとどまっており、2023年までの現在の事実上ゼロ金利を維持する見込みが大勢であることを示しました。昨年12月時点では17名中5名でしたので、2名増えてはいますが、慎重姿勢が維持されているという印象を与えました(12月のFOMC後にウォーラー氏が2名空席となっていた理事枠の一つを埋めたので、全体も一名多い)。

前回のFOMC後、雇用統計、ISM製造業・非製造業景気指数、小売売上高、消費者物価指数など、重要指標が軒並みの好結果となっていることや、ワクチン接種が順調に進行していることから、今後への期待感がやや強まっています。ただ、SEPの発表回でもない今回のFOMCで、従来の慎重姿勢からの変化を示すほどの状況には見えず、今回のFOMCでは従来の慎重姿勢が維持されると予想されています。

4月22日のECB理事会でも、事前に参加国の一部から強気な発言が出ていたものの、理事会声明及びラガルド総裁会見では従来の慎重姿勢を維持しました。FOMCも同様にこれまでの慎重姿勢を堅持してくると見られ、今回は比較的波乱要素の無い会合となりそうです。

少し気になるところがあるとすると、21日のカナダ中銀金融政策理事会での国債購入減額などの正常化への動きです。カナダ中銀は慎重姿勢を崩さない先進国の中でいち早く正常化に動いた形となりました。

米国が隣国のこうした対応を受けて、ある程度の配慮を見せるかどうかポイントに。市場ではSEPの発表回にあたる6月のFOMCか、8月のジャクソンホールでテーパリングについての何らかの方針が示されるのではと期待されています。今回その地ならし的な示唆があるようだとドル買いの動きに繋がります。

その他の材料としては米第1四半期GDP速報値の発表が29日21時半に控えています。2020年第4四半期確報値は前期比年率+4.3%と改定値から0.2%ポイント上方修正され、第3四半期の+33.4%と合わせて、アフターコロナの米景気回復の力強さを印象付けました。

今回は+6.0%と前回を超える成長が見込まれています。第4四半期は全体では力強かったとはいえ、宿泊・飲食・映画やカジノなどの娯楽部門からなるレジャー & ホスピタリティ部門の落ち込みが目立ちました。

ロックダウンの緩和が進み、第4四半期時点では弱かったレジャー & ホスピタリティ部門の回復が見込まれていることもあり、予想は+6.5%とかなりの好結果が見込まれています。特に個人向けの直接給付の影響もあり、GDP全体の約7割を占める個人消費が前回の+2.3%から+10.3%に大きく伸びると期待されています。

前回のFOMCでの経済成長見通しの上方修正にみられるように、景気回復の順調さはFRBの中で織り込まれており、金融政策姿勢の変更につながるようなものではありませんが、今後のテーパリングに向けた示唆が6月以降に出てくるという市場の見方を支える格好となりそうで、ドルの支えとして期待されるところです。

毎回のブレが大きい在庫投資などの影響で予想ほどの上昇が見られないケースも含めて、結果に要注意です。

#### 山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。